

令和5年度小学校教科担任制の推進に係る専科加配 留意事項

1 加配の配置について

○本加配は、国の配分する小学校専科指導加配を活用し、対象校に配置するものとする。

○配置校は、以下に示す資格や実施教科の要件を満たすことを前提(※)に、県教育委員会と各市町村(学校組合)教育委員会との協議のうえ、加配申請校の中から決定する。

※ 小規模・複式校においては複数校を兼務することで要件を満たす場合も可とする。

2 国の専科加配の種類と配置要件

加配の名称	対象教科	時数	資格要件・実施教科について	その他
教科担任制推進加配 [小学校へ加配を配置]	算数 理科 体育	20時間 以上	※次の①～③のいずれかを満たす者 ①中学校・高等学校の免許状保有者 ②対象教科の専科指導実施経験者(3年程度) ③ミドルリーダー、CST等の研修認定者 ※実施教科は、国の示す優先教科(算数・理科・体育)とする。	小学校高学年 を原則対象
小中一貫・連携教育 [中学校へ加配を配置]	算数 理科 体育 外国語	10時間 以上	・通常学級が5学級以上の中学校を対象 ※実施教科は、国の示す優先教科(算数・理科・体育・外国語)とする。	小学校高学年 を主に対象

3 対象学年について(高知県版教科担任制)

○教科担任制推進加配は小学校高学年での実施を前提として、持ち時間数に余裕がある場合に、学校の実態に応じて中学年を担当することも可能とする。[高学年で10時間以上を実施]

○中学校に専科加配を配置する小中一貫・連携教育加配は、小学校高学年を主に対象とするが、小規模・複式校等、学校の実態に合わせて高学年以外を担当することも可能とする。

4 実施教科について(高知県版教科担任制)

○実施教科は、文部科学省の示す優先すべき教科(理科、算数、体育)を中心とする。(小中一貫・連携教育加配は、算数、理科、体育、外国語とする)。ただし、小規模・複式校においては優先教科に加えて、他の教科の専科指導を行うことも可能とする。

5 その他留意事項

○小学校専科加配教員の担当教科は、過負担とならないよう2教科以内とすること。

○小学校専科加配配置校は、高学年において3教科以上の教科担任制を実施すること。

○小学校専科加配配置校は、学級担任同士の授業交換による教科担任制を積極的に進めること。

○小学校の専科指導を行う教員は、担当教科の「授業づくり講座」等の研修会へ積極的に参加し、授業力の向上に努めること。

○中学校に専科加配を配置する小中一貫・連携教育加配は、小学校における専科指導以外の時間を配置校での勤務に受持しても構わないが、あくまで小学校の専科指導を優先し、中学校における持ち授業等により小学校の専科指導が疎かになることがないようにすること。